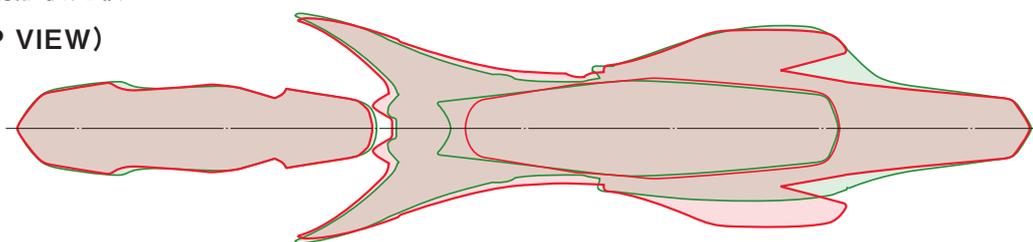


● シュラウド、サイドカバー、シート、フューエルタンク

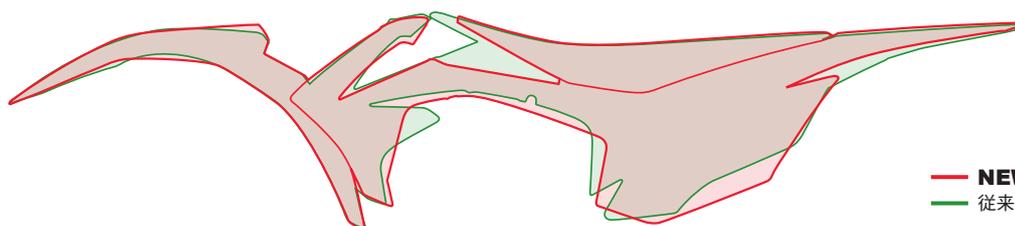
ライダーがよりスムーズに動くことができるよう、シュラウド、サイドカバー、シートを滑らかに連続させた形状としています。同時に激しいライディング時におけるホールド性向上のために外装部品の取り付け構造や肉厚、リブ形状を吟味することで剛性を確保し、ライダーの自由度の高い動きと良好な車体ホールド性を両立させました。シュラウド形状は、ラジエーターグリルとの組み合わせにより、ラジエーターへの導風、排風効率を向上させました。

■ 外観形状比較

(TOP VIEW)



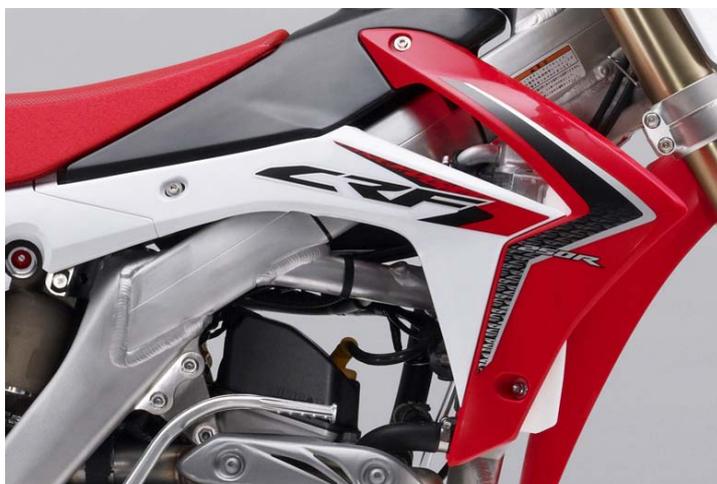
(SIDE VIEW)



— NEW CRF250R
— 従来モデル

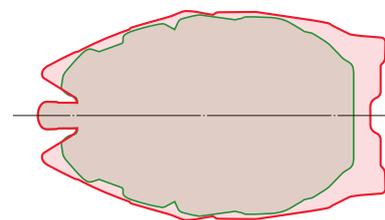
航続距離向上のため、フューエルタンクは、シュラウド、シート相互とのオーバーラップを最小限にすることで、従来の5.7Lから6.3Lに容量アップを図りました。

■ 導風、排風効率を向上したシュラウド形状

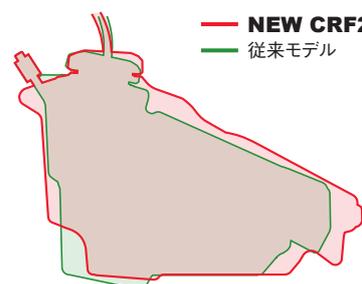


■ フューエルタンク形状比較

(TOP VIEW)



(SIDE VIEW)



— NEW CRF250R
— 従来モデル